

平成26年11月12日(水) 18:00~20:00

津山市役所東庁舎3階E302会議室

津山市教育委員会学校教育課指導係

第2回つやまげんぼ塾 資料

演習 授業づくり 導入について考える！

# 算数の導入を考える！ ～わり算～その1

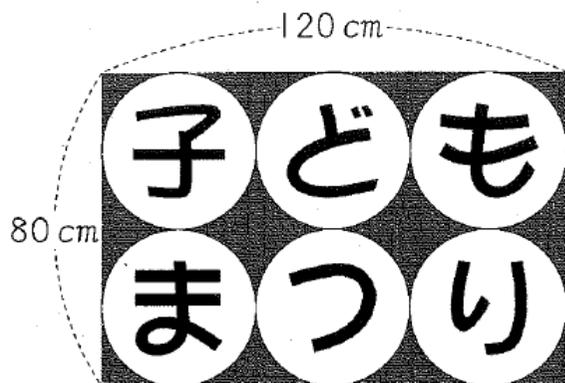
×  $10 \div 5 =$

× 問題をつくらう

# 算数の導入を考える～わり算その2～

## 平成21年度 全国学力学習状況調査 算数B問題の活用

(3) 下の図のように、6つの円の中に「子どもまつり」と書かれた長方形の紙があります。



紙のたての長さは80 cm、横の長さは120 cmで、図のように、紙いっぱいには6つの同じ大きさの円がかかれています。

これと同じものを作りたいので、1つの円の半径の長さが何 cm になるかを求めます。

ゆうじさんは、紙のたての長さを使って、1つの円の半径の長さを、次のように求めました。

ゆうじさんの求め方

式	$80 \div 2 = 40$ $40 \div 2 = 20$	答え	20 cm
説明	紙のたての長さは80 cmです。 円がたてに2つならんでいるので、 $80 \div 2 = 40$ で直径の長さを求めました。 半径の長さは直径の半分なので、 $40 \div 2 = 20$ で半径の長さを求めました。 だから、半径の長さは20 cmです。		

ゆうじさんと同じ求め方で、紙の横の長さを使って、1つの円の半径の長さを求めると、どのような式と説明になりますか。

下にある求め方の、2つの式の□の中には数を、( )の中には言葉と式を入れましょう。それぞれ解答用紙に書きましょう。

求め方

式	$120 \div \square = \square$ $\square \div \square = \square$	答え	20 cm
説明	紙の横の長さは120 cmです。  ※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。  だから、半径の長さは20 cmです。		

## 算数の導入を考える！～わり算～その2

$$\begin{aligned} \text{【式】 } & 80 \div 2 = 40 \\ & 40 \div 2 = 20 \end{aligned}$$

(説明)

紙のたての長さは80 cmです。円がたてに2つ並んでいるので、  
 $80 \div 2 = 40$ で、直径の長さを求めました。

半径の長さは直径の半分なので、 $40 \div 2 = 20$ で半径の長さを求めました。  
だから、半径の長さは20 cmです。

$$\begin{aligned} \text{【式】 } & [ \quad ] \div [ \quad ] = [ \quad ] \\ & [ \quad ] \div [ \quad ] = 20 \end{aligned} \quad \underline{\text{答え}} \quad 20 \text{ cm}$$

(説明)

紙の( )の長さは( ) cmです。円が( )に  
( )つ並んでいるので、 $120 \div ( ) = ( )$ で、直径  
の長さを求めました。半径の長さは直径の半分なので、  
( )  $\div$  ( ) = 20で半径の長さを求めました。  
だから、半径の長さは20 cmです。

POINT 1

図を示しながら、説明する活動として

答え 20 cm

POINT 2

説明モデルを参考に、考える活動として

## 4年算数「式と計算」～導入を考える～

- 1本900円のラケットを2本と、1個100円のシャトルを3個買いました。全部でいくらになるでしょうか。

(いつもやっている導入を振り返って、考えてみましょう)

## 4年算数「式と計算」～導入を考える～

- 1本900円のラケットを2本と、1個100円のシャトルを3個買いました。全部でいくらになるでしょうか。

【本時の目標】が「計算の意味と順序を考えて、1つの式で表すこと」だったならば・・・

# 学習のねらいから授業イメージを分析する！

教師は最大の（ ）である！

（発見型）

耳にしたことは・・・  
目にしたことは・・・  
やったことは・・・

（論理・受動型）

（体験・活動型）

・指示・提示・質問・発問・助言・説明・説得・激励  
・評価・問答 + 板書 + 身体表現（教師の言語活動）

（確認型）

「わかる」とは・・・  
知的理解 → イメージ化 → 身体化

## 【授業改善の視点（提案 ~ ）】

つかみはOK?

### □ 提案① 授業の導入について

#### □ フラッシュ教材

（歴史人物、漢字、公式、九九、ことわざ等）

#### □ 5分間ミニテスト

（復習：基礎基本を中心に行う）

#### □ 復習プリント

（5分程度で：答えあわせはテンポよく）

提案 子どもと子ども同士がペアや前後で、関わり合う場面や活動を1時間の中で、5～10分間設定する。

提案 ノートにまとめる時間や、黒板を写す時間を確保する。

# 授業リフレクション！

～明日からすぐに活かすために！～

×

×

×

×

×

×

×

×